

の計画的な削減を進められたい。

⑥ 本年度の歳入面においては、企業の業績回復に伴う法人二税の増収などで前年度よりも増加したが、歳出面では、今後も社会保障関係費などの増加が見込まれており、依然として厳しい財政運営を余儀なくされている。

今後の財政運営に当たっては、すべての県民が明るく希望に満ち安心して暮らせる「輝き あんしん プラチナ社会」の実現に向けての処方箋となる「ダイナミックやまなし総合計画」の着実な推進を図るため、引き続き行財政改革に取り組みとともに、限られた財源を有効に活用して効率的かつ効果的な財政運営に努め、将来にわたり安定的な行政運営を確保できる健全な財政状況の維持に取り組みきたい。

山梨県公立病院

平成二十八年十二月定例会議において認定された平成二十七年山梨県公営企業会計の決算及び当該決算に係る監査委員の意見は、次のとおりである。

平成二十八年十二月二十八日

山梨県知事 後 藤 寮

- 1 決算の認定に係る議会の議決 認定
- 2 山梨県営電気事業

平成27年度 山梨県営電気事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算		第24条第3項の財源に充てる財源	第1条第3項の規定に係る当額	合 計	決 算 額	予算額に比べ決算額の増 減	備 考
	当初予算額	補正予算額						
第1款 電気事業収益	円 3,966,059,000	円 0	円 0	円 0	円 3,966,059,000	円 4,269,681,408	円 303,622,408	
第1項 営業収益	3,759,012,000	0	0	0	3,759,012,000	3,943,932,275	184,920,275	(うち振替消費税 291,910,699円)
第2項 財務外収益	7,759,000	0	0	0	7,759,000	8,391,457	632,457	
第3項 特別利益	199,258,000	0	0	0	199,258,000	251,941,234	52,683,234	" 8,417,979円)
第4項 特別利益	30,000	0	0	0	30,000	65,416,442	65,386,442	" 22,537円)

支 出

予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額

区分	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	小計		地方公営企業第24項の支出額	小計	地方公営企業第26項の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合計	決算額	地方公営企業第26項の規定による繰越額	継続費通次繰越額	合計	不用額	備考	
					円	円												円
第1款 電気事業費用	3,684,580,000	0	0	0	0	0	0	3,684,580,000	21,435,960	418,367,872	4,124,383,832	3,434,569,544	2,332,000	140,714,000	143,046,000	546,768,288	(うち仮払消費税及び地方消費税107,972,207円)	
第1項 営業費用	3,478,398,000	0	0	0	0	0	0	3,478,398,000	21,435,960	418,367,872	3,918,201,832	3,244,947,221	2,332,000	140,714,000	143,046,000	530,208,611	(うち仮払消費税及び地方消費税107,972,207円)	
第2項 財務費用	34,273,000	0	0	0	0	0	0	34,273,000	0	0	34,273,000	34,272,794	0	0	0	206		
第3項 事業外費用	166,879,000	0	0	0	0	0	0	166,879,000	0	0	166,879,000	147,284,621	0	0	0	19,594,379	(* 1,307,414円)	
第4項 特別損失	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000	0	0	30,000	30,000	0	0	0	0	8,034,908	固定資産売却損計上
第5項 予備費	5,000,000	0	0	0	0	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000	8,064,908	0	0	0	0	5,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収入

区分	予算額				決算額				予算額に比べ決算額の増減	備考
	当初予算額	補正予算額	小計	合計	当初予算額	補正予算額	小計	合計		
第1款 資本的収入	86,384,000	0	86,384,000	0	86,384,000	172,141,511	85,757,511	(うち仮受消費税及び地方消費税282,802円)		
第1項 固定資産売却代金	10,000	0	10,000	0	10,000	3,831,277	3,821,277			
第2項 長期貸付金償還金	70,502,000	0	70,502,000	0	70,502,000	70,502,234	234			
第3項 国庫補助金	15,872,000	0	15,872,000	0	15,872,000	97,808,000	81,936,000			

支出

区分	予算額				翌年度繰越額				不用額	備考
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小計	継続費通次繰越額	合計	継続費通次繰越額	合計		
第1款 資本的収入	86,384,000	0	0	86,384,000	0	86,384,000	172,141,511	85,757,511		
第1項 固定資産売却代金	10,000	0	0	10,000	0	10,000	3,831,277	3,821,277		
第2項 長期貸付金償還金	70,502,000	0	0	70,502,000	0	70,502,000	70,502,234	234		
第3項 国庫補助金	15,872,000	0	0	15,872,000	0	15,872,000	97,808,000	81,936,000		

	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
第1款 資本の支出	2,989,749,000	0	2,989,749,000	356,060,008	417,245,922	3,765,054,930	2,412,174,665	423,919,600	162,000,000	587,919,600	764,960,665		
第1項 小水力発電所建設費	497,880,000	0	497,880,000	17,546,760	0	515,426,760	54,622,728	422,031,600	0	422,031,600	38,772,432		(うち仮払消費税及び地方消費税 4,044,832円)
第2項 太陽光発電施設等建設費	25,713,000	0	25,713,000	0	128,943,014	154,656,014	154,106,768	0	0	0	549,246		(うち仮払消費税及び地方消費税 11,415,316円)
第3項 水力発電設備改良費	1,927,805,000	0	1,927,805,000	308,118,785	288,302,908	2,524,226,693	1,784,275,564	0	162,000,000	162,000,000	577,951,129		(うち仮払消費税及び地方消費税 132,164,309円)
第4項 業務設備改良費	74,393,000	0	74,393,000	19,076,391	0	93,469,391	68,202,299	3,888,000	0	3,888,000	21,379,092		(うち仮払消費税及び地方消費税 4,989,318円)
第5項 事業外設備改良費	30,240,000	0	30,240,000	13,318,072	0	43,558,072	36,089,872	0	0	0	7,468,200		(うち仮払消費税及び地方消費税 2,673,324円)
第6項 水力発電地誌等調査費	98,280,000	0	98,280,000	0	0	98,280,000	511,218	0	0	0	97,768,782		(うち仮払消費税及び地方消費税 37,868円)
第7項 水力発電設備改良調査費	68,040,000	0	68,040,000	0	0	68,040,000	46,969,200	0	0	0	21,070,800		(うち仮払消費税及び地方消費税 3,479,200円)
第8項 企業債償還金	167,398,000	0	167,398,000	0	0	167,398,000	167,397,016	0	0	0	984		
第9項 繰出金	100,000,000	0	100,000,000	0	0	100,000,000	100,000,000	0	0	0	0		

(注) 資本の収入額が資本の支出額に不足する額2,240,033,154円は、当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額158,521,359円、減価積立金167,397,016円、建設改良積立金50,577,896円、中小水力発電開発改良積立金400,000,000円、地域文化振興・環境保全積立金178,300,000円及び過年度分損益勘定留保資金1,285,236,883円で補填した。

平成27年度 山梨県営電気事業損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益	3,648,139,944	
(1) 電力収益	3,881,632	3,652,021,576
2 営業費用		
(1) 早川水系水力発電費	1,228,165,447	
(2) 笛吹川水系水力発電費	1,103,770,782	
(3) 塩川発電所水力発電費	40,077,796	
(4) 総合制御所水力発電費	240,841,352	
(5) 小水力発電費	51,000,509	
(6) 一般管理費	478,119,128	3,141,975,014
営業利益		510,046,562

3 財務収益			
(1) 受取利息	8,391,457	8,391,457	
4 事業外収益			
(1) 電力料	56,052,666		
(2) 長期前受金戻入	81,723,244		
(3) 雑収	105,747,345	243,523,255	
5 財務費用			
(1) 支払利息	34,272,794	34,272,794	
6 事業外費用			
(1) 事業外固定資産管理費	107,600,525		
(2) 雑損	864,346	108,464,871	109,177,047
経常利益			619,223,609
7 特別利益			
(1) 固定資産売却益	281,713		
(2) その他の特別利益	65,112,192	65,393,905	
8 特別損失			
(1) 固定資産売却損	8,064,908	8,064,908	57,328,997
当年度純利益			676,552,606
前年度繰越利益剰余金			7,242,078
その他未処分利益剰余金変動額			696,274,912
当年度未処分利益剰余金			<u>1,380,069,596</u>

平成27年度 山梨県営電気事業剰余金計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金	資本剰余金			利益剰余金					資本合計		
		受贈財産 評価額	工事負担金	その他 資本剰余金	減債積立金	利益積立金	建設改良 積立金	中小水力発電 開発改良積立金	地域文化振興・ 環境保全 積立金		未処分利益剰余金	利益剰余金 合計
前年度末残高	24,703,378,823	2,686,869	1,707,879	3,035,200	1,248,873,338	129,377,000	2,282,773,670	2,475,210,705	472,765,206	1,535,698,501	8,144,698,420	32,855,507,191
前年度処分額	746,492,361	△ 2,507,439	△ 1,707,879	△ 3,026,760	0	150,000,000	361,206,140	18,000,000	260,000,000	△ 1,528,456,423	△ 739,250,283	0
議会の議決による処分額	746,492,361	△ 2,507,439	△ 1,707,879	△ 3,026,760	0	150,000,000	361,206,140	18,000,000	260,000,000	△ 1,528,456,423	△ 739,250,283	0
利益積立金の積立	0	0	0	0	0	150,000,000	0	0	0	△ 150,000,000	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	0	0	0	0	361,206,140	0	0	△ 361,206,140	0	0
中小水力発電開発改良積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	18,000,000	0	△ 18,000,000	0	0
地域文化振興・環境保全積立金の積立	0	0	0	0	0	0	0	260,000,000	0	△ 260,000,000	0	0
未処分利益剰余金からの組入	746,492,361	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 746,492,361	△ 746,492,361	0
除却損への補填	0	△ 2,507,439	△ 1,707,879	△ 3,026,760	0	0	0	0	0	7,242,078	7,242,078	0
処分後残高	25,449,871,184	179,430	0	8,440	1,248,873,338	279,377,000	2,643,979,810	2,493,210,705	732,765,206	(繰越利益剰余金) 7,242,078	7,405,448,137	32,855,507,191
当年度変動額	0	0	0	0	△ 167,397,016	0	△ 50,577,896	△ 400,000,000	△ 178,300,000	1,372,827,518	576,552,606	576,552,606
企業債の償還	0	0	0	0	△ 167,397,016	0	0	0	0	167,397,016	0	0
建設改良積立金の振替	0	0	0	0	0	0	△ 50,577,896	0	0	50,577,896	0	0
中小水力発電開発改良積立金からの組入	0	0	0	0	0	0	△ 400,000,000	0	0	400,000,000	0	0
地域文化振興・環境保全積立金の振替	0	0	0	0	0	0	0	△ 78,300,000	78,300,000	0	0	0
一般会計への繰出	0	0	0	0	0	0	0	△ 100,000,000	0	△ 100,000,000	△ 100,000,000	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	676,552,606	676,552,606	676,552,606
当年度末残高	25,449,871,184	179,430	0	8,440	1,081,476,322	279,377,000	2,593,401,914	2,093,210,705	554,465,206	(当年度未処分利益剰余金) 1,380,069,596	7,982,000,743	33,432,059,797

平成27年度 山梨県営電気事業剰余金処分計算書

(単位：円)

資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
-----	-------	----------

当年度末残高	25,449,871,184	187,870	1,380,069,596
議会の議決による処分額	696,274,912	0	△ 1,380,069,596
利益積立金の積立	0	0	△ 135,310,000
建設改良積立金の積立	0	0	△ 200,000,000
中小水力発電開発改良積立金の積立	0	0	△ 6,000,000
地域文化振興・環境保全積立金の積立	0	0	△ 342,484,684
資本金への組入	696,274,912	0	△ 696,274,912
処分後残高	26,146,146,096	187,870	(繰越利益剰余金) 0

平成27年度 山梨県営電気事業貸借対照表

(平成28年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 電気事業固定資産			
イ 水力発電設備	43,280,976,482		
減価償却累計額	△ 28,573,599,084	14,707,377,398	
ロ 送電設備	40,524,276		
減価償却累計額	△ 32,207,884	8,316,392	
ハ 業務設備	255,715,702		
減価償却累計額	△ 133,932,791	121,782,911	
電気事業固定資産合計			14,837,476,701
(2) 事業外固定資産			
イ 事業外固定資産	2,197,542,499		
減価償却累計額	△ 422,831,143	1,774,711,356	
事業外固定資産合計			1,774,711,356

(3) 投資その他の資産
 イ 長期貸付金 6,349,030,073
 ロ 長期前払費用 321,640
 ハ その他の投資 100,000,000

投資その他の資産合計 6,449,351,713
 固定資産合計 23,061,539,770

2 流動資産

(1) 現金預金 14,455,812,891
 (2) 未収金 502,268,044
 (3) 貯蔵品 7,518,722
 (4) 短期貸付金 50,509,285
 (5) 前払費用 96,847
 (6) 前払金 1,850,549
 (7) その他の流動資産 5,800

流動資産合計 15,018,062,138
 資産合計 38,079,601,908

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債 908,708,947
 イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 908,708,947

企業債合計 908,708,947
 (2) リース債務 2,512,000
 (3) 引当金 816,705,625
 イ 退職給付引当金 816,705,625
 ロ 特別修繕引当金 486,668,000

引当金合計		1,303,373,625	
(4) その他固定負債		<u>100,000,000</u>	
固定負債合計			2,314,594,572
4 流動負債			
(1) 企業債			
1 建設改良費等の財源に充てるための企業債		<u>172,767,375</u>	
企業債合計		172,767,375	
(2) リース負債		1,884,000	
(3) 未払金		285,300,570	
(4) 未払費用		1,247,186	
(5) 引当金			
イ 退職給付引当金		22,363,544	
ロ 賞与引当金		69,069,628	
ハ 修繕引当金		403,125,980	
ニ 特別修繕引当金		<u>145,964,325</u>	
引当金合計		640,523,477	
(6) その他流動負債		<u>5,185,023</u>	
流動負債合計			1,106,907,631
5 繰延収益			
長期前受金額		1,377,196,596	
繰延収益合計		<u>△ 151,156,688</u>	
繰延収益合計			1,226,039,908
繰延収益合計			<u>4,647,542,111</u>
6 資本金			25,449,871,184
資本の部			

7 剰 余 金					
(1) 資 本 剰 余 金					
イ	受贈財産評価額		179,430		
ロ	その他資本剰余金		8,440		
	資 本 剰 余 金 合 計			187,870	
(2) 利 益 剰 余 金					
イ	減 債 積 立 金	1,081,476,322			
ロ	利 益 積 立 金	279,377,000			
ハ	建 設 改 良 積 立 金	2,593,401,914			
ニ	中小水力発電開発改良積立金	2,093,210,705			
ホ	地域文化振興・環境保全積立金	554,465,206			
ヘ	当年度未処分利益剰余金	1,380,069,596			
	利 益 剰 余 金 合 計		7,982,000,743		
	剰 余 金 合 計			7,982,188,613	
	資 本 合 計			33,432,059,797	
	負 債 資 本 合 計			38,079,601,908	

3 山梨県営温泉事業

平成27年度 山梨県営温泉事業決算報告書

(1) 収益的収入及び支出
収 入

区 分	予 算		地方公営企業法第24条第3項の額に よる財源に充てる額	合 計	決算額	予算額に比 べ決算額の 増 減	備 考
	当初予算額	補正予算額					
	円	円	円	円	円	円	

第1款 温泉事業収益	157,707,000	0	157,707,000	159,288,797	1,581,797	(うち仮受消費税及び地方消費税 11,017,145円)
第1項 営業収益	149,096,000	0	149,096,000	148,931,604	△ 164,396	
第2項 営業外収益	8,601,000	0	8,601,000	10,357,193	1,756,193	(うち仮受消費税及び地方消費税 1,848,100円)
第3項 特別利益	10,000	0	10,000	0	△ 10,000	

支出

区分	予算額					翌年度繰越額			不用額	備考				
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	小計	地方公営企業法第26項による繰越額	継続費通次繰越額	合計						
第1款 温泉事業費用	175,296,000	0	0	0	175,296,000	0	21,911,000	197,207,000	115,771,311	1,874,526	62,043,000	63,917,526	17,518,163	(うち仮払消費税及び地方消費税 2,171,622円)
第1項 営業費用	172,977,000	0	0	0	172,977,000	0	21,911,000	194,888,000	115,668,721	1,874,526	62,043,000	63,917,526	15,281,753	
第2項 営業外費用	809,000	0	0	0	809,000	0	0	809,000	82,590	0	0	0	726,410	(うち仮払消費税及び地方消費税 6,023円)
第3項 特別損失	510,000	0	0	0	510,000	0	0	510,000	0	0	0	0	510,000	
第4項 予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000	

(2) 資本的収入及び支出
収入

区分	予算額				決算額				予算額に比 増減	備考
	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に充当する財源	合計	継続費通次繰越額に充当する財源	合計	決算額		
第1款 資本的収入	10,000	0	10,000	0	10,000	0	10,000	0	△ 10,000	
第1項 固定資産売却代金	10,000	0	10,000	0	10,000	0	10,000	0	△ 10,000	

支 出

区 分	予 算			額			翌年度繰越額			不用額	備 考		
	当 初 予算額	補 正 予算額	流 用 増減額	小 計	地方公営 企業法第 26条によ る繰 越額	継続費 繰越額	合 計	地方公営 企業法第 26条によ る繰 越額	継続費 繰越額			合 計	
第1款 資本的支出	円 208,524,000	円 0	円 0	円 208,524,000	円 80,921,160	円 161,437,000	円 450,882,160	円 143,772,932	円 66,165,474	円 192,082,228	円 258,247,702	円 48,861,526	うち原状消費税 及び地方消費税 10,649,846円
第1項 温泉事業設備改良費	208,524,000	0	0	208,524,000	80,921,160	161,437,000	450,882,160	143,772,932	66,165,474	192,082,228	258,247,702	48,861,526	

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額143,772,932円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額10,649,846円、建設改良積立金74,927,000円及び過年度分損益勘定留保資金58,196,086円で補填した。

平成27年度 山梨県営温泉事業損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

1 営 業 収 益													
(1) 温泉供給収益				137,743,407									
(2) その他営業収益				171,052			137,914,459						
2 営 業 費 用													
(1) 温泉管理費				113,517,099			113,517,099						
3 営 業 外 収 益													
(1) 受取利息				472,575									
(2) 長期前受金戻入				8,036,518									
(3) 雑 収				3,674									
												8,512,767	
													24,397,360

4 営業外費用

(1) 雑支 出 76,567

8,436,200

経常利益 32,833,560

当年度純利益 32,833,560

前年度繰越利益剰余金 30,814

その他未処分利益剰余金変動額 74,927,000

当年度未処分利益剰余金 107,791,374

平成27年度 山梨県営温泉事業剰余金計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

	資本金	剰余金						資本合計	
		受贈財産 評価額	資本剰余金 合計	利益剰余金	建設改良積立金	地域観光振興 積立金	未処分利益剰余金		利益剰余金 合計
前年度末残高	1,045,575,716	30,814	30,814	88,136,879	196,812,751	4,300,000	90,008,222	379,257,852	1,424,864,382
前年度処分額	2,231,650	△ 30,814	△ 30,814	0	87,776,572	0	△ 89,977,408	△ 2,200,836	0
議会の議決による処分	2,231,650	△ 30,814	△ 30,814	0	87,776,572	0	△ 89,977,408	△ 2,200,836	0
建設改良積立金からの組入	2,231,650	0	0	0	0	0	△ 2,231,650	△ 2,231,650	0
建設改良積立金の積立	0	0	0	0	87,776,572	0	△ 87,776,572	0	0
除却損への補填	0	△ 30,814	△ 30,814	0	0	0	30,814	30,814	0
処分後残高	1,047,807,366	0	0	88,136,879	284,589,323	4,300,000	(繰越利益剰余金) 30,814	377,057,016	1,424,864,382
当年度変動額	0	0	0	0	△ 74,927,000	0	107,760,560	32,833,560	32,833,560
建設改良積立金の振替	0	0	0	0	△ 74,927,000	0	74,927,000	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0	0	32,833,560	32,833,560	32,833,560
当年度末残高	1,047,807,366	0	0	88,136,879	209,662,323	4,300,000	(当年度未処分利益剰余金) 107,791,374	409,890,576	1,457,697,942

平成27年度 山梨県営温泉事業剰余金処分計算書

(単位：円)

	資本金	未処分利益剰余金
当年度末残高	1,047,807,366	107,791,374
議会の議決による処分額	74,927,000	△ 107,791,374
建設改良積立金からの組入	74,927,000	△ 74,927,000
建設改良積立金の積立	0	△ 32,864,374
処分後残高	1,122,734,366	(繰越利益剰余金) 0

平成27年度 山梨県営温泉事業貸借対照表

(平成28年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

1	固 定 資 産	
(1)	有 形 固 定 資 産	
イ	土 地	79,472,497
ロ	建 物	66,984,312
	減価償却累計額	△ 43,286,742
ハ	構 築 物	1,512,780,832
	減価償却累計額	△ 792,399,804
ニ	機 械 装 置	720,381,028
		151,131,031

減価償却累計額	△ 133,351,558	17,779,473	
備品	4,441,558		
減価償却累計額	△ 4,219,480	222,078	
へ建設仮勘定		87,971,715	
ト建設準備勘定		19,512,263	
有形固定資産合計			949,036,624
(2) 無形固定資産			
イ電話加入権		80,500	
ロその他無形固定資産		1,305,209	
無形固定資産合計			1,385,709
(3) 投資その他の資産			
イ長期前払費用		28,280	
ロ破産更生債権等		7,970,350	
ハその他投資		200,000	
ニ貸倒引当金		△ 7,970,350	
投資その他の資産合計			228,280
固定資産合計			950,650,613
2 流動資産			
(1) 現金預金			553,356,060
(2) 未収金			28,618,590
(3) 貸倒引当金		△ 2,192,090	
(4) 貯蔵品			635,327
(5) 前払費用			442
(6) 前払金			86,240,000
(7) その他流動資産			260
流動資産合計			666,658,589

資 産 合 計		負 債 の 部	
			<u>1,617,309,202</u>
3	固 定 負 債		
(1)	そ の 他 固 定 負 債	<u>400,000</u>	
	固 定 負 債 合 計		400,000
4	流 動 負 債		
(1)	未 払	1,684,394	
(2)	未 払 費 用	19,295	
(3)	引 当 金		
	イ 賞 与 引 当 金	2,987,124	
	ロ 修 繕 引 当 金	<u>12,446,834</u>	
(4)	引 当 金 合 計		15,433,958
	そ の 他 流 動 負 債	<u>6,368,879</u>	
	流 動 負 債 合 計		23,506,526
5	繰 延 収 益		
	長 期 前 受 金	151,239,864	
	収 益 化 累 計 額	<u>△ 15,535,130</u>	
	繰 延 収 益 合 計		135,704,734
	債 合 計		<u>159,611,260</u>
6	資 本 金		
7	資 本 余 金		
(1)	利 益 剰 余 金		
イ	利 益 積 立 金	88,136,879	
	資 本 の 部		1,047,807,366

第1款 地域振興事業費用 第1項 営業費用 第2項 営業外費用 第3項 特別損失 第4項 予備費	算				額				備考		
	当初予算額	補正予算額	小計	計	継続費繰次繰る額	合計	決算額	計			
160,890,000	0	0	0	0	0	160,890,000	156,604,494	0	4,285,506	(うち仮払消費税及び地方消費税1,069,731円)	
147,249,000	0	0	0	0	0	147,249,000	145,318,956	0	1,930,044		
12,631,000	0	0	0	0	0	12,631,000	11,285,538	0	1,345,462		(うち仮払消費税及び地方消費税1,187円)
10,000	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000		
1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000		

(2) 資本的収入及び支出
収入

区分 第1款 資本的収入 第1項 固定資産売却代金	算				額				備考	
	当初予算額	補正予算額	小計	計	継続費繰次繰る額	合計	決算額	計		
10,000	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000	△ 10,000
10,000	0	0	0	0	0	10,000	0	0	10,000	

支出

区分 第1款 資本的支出 第1項 地城振興事業費 第2項 他会計借入金償還金 第3項 予備費	算				額				翌年度繰越額	不用額	備考	
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小計	地方公営企業法第26条による繰上額	継続費繰次繰る額	合計	決算額				地方公営企業法第26条による繰上額
76,503,000	0	0	0	76,503,000	0	76,503,000	76,145,234	0	0	0	357,766	うち仮払消費税及び地方消費税418,000円)
5,000,000	0	984,000	5,984,000	0	5,984,000	5,643,000	0	0	0	0	341,000	
70,503,000	0	0	70,503,000	0	70,503,000	70,502,234	0	0	0	0	766	
1,000,000	0	△ 984,000	16,000	0	16,000	0	0	0	0	0	16,000	

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額76,145,234円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額418,000円、過年度分損益勘定留保資金18,721,173円及び当年度分損益勘定留保資金57,006,061円で補填した。

平成27年度 山梨県営地域振興事業損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益				
(1) 丘の公園事業収益	150,000,527	150,000,527		
2 営業費用				
(1) 丘の公園維持管理費	144,269,225	144,269,225		
営業利益			5,731,302	
3 営業外収益				
(1) 受取利息	7,479			
(2) 雑収	1,185,983		1,193,462	
4 営業外費用				
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	599,034			
(2) 雑支出	63,017	662,051	531,411	
経常利益			6,262,713	
当年度純利益			6,262,713	
前年度繰越欠損金			3,525,566,702	
当年度未処理欠損金			3,519,303,989	

平成27年度 山梨県営地域振興事業欠損金計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

	剰		余		資本合計
	資本剰	余金	利益剰	余金	
前年度末残高	25,000,000	7,455,531	7,455,531	△ 3,525,566,702	△ 3,493,111,171
寄附金		7,455,531	7,455,531	△ 3,525,566,702	
未処理欠損金			未処理欠損金	△ 3,525,566,702	
利益剰余金合計			利益剰余金合計	△ 3,525,566,702	
資本剰余金合計			資本剰余金合計	△ 3,493,111,171	

前年度処分額	0	0	0	0	0	0
処分後残高	25,000,000	7,455,531	7,455,531	(繰越欠損金) △ 3,525,566,702	△ 3,525,566,702	△ 3,493,111,171
当年度変動額	0	0	0	6,262,713	6,262,713	6,262,713
当年度純利益	0	0	0	6,262,713	6,262,713	6,262,713
当年度末残高	25,000,000	7,455,531	7,455,531	(当年度未処理欠損金) △ 3,519,303,989	△ 3,519,303,989	△ 3,486,848,458

平成27年度 山梨県営地域振興事業欠損金処理計算書

(単位：円)

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	25,000,000	7,455,531	△ 3,519,303,989
議会の議決による処分額	0	0	0
処分後残高	25,000,000	7,455,531	(繰越欠損金) △ 3,519,303,989

平成27年度 山梨県営地域振興事業貸借対照表

(平成28年3月31日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産	金額
(1) 有形固定資産	5,790,934
イ 土地	2,336,976,900
ロ 建物	△ 1,585,750,850
ハ 構築物	3,955,723,857
減価償却累計額	△ 2,362,617,700
	1,593,106,157

ニ 機械装置	798,788,548		
減価償却累計額	<u>△ 742,318,566</u>	56,469,982	
ホ 備品	118,398,305		
減価償却累計額	<u>△ 111,028,943</u>	7,369,362	
有形固定資産合計			2,413,962,485
(2) 無形固定資産			
イ 電話加入権		2,249,600	
ロ その他無形固定資産		<u>63,350</u>	
無形固定資産合計			<u>2,312,950</u>
固定資産合計			<u>2,416,275,435</u>
2 流動資産			
(1) 現金預金			35,486,693
(2) 未収金			52,000
(3) 貯蔵品			<u>1,325,594</u>
流動資産合計			<u>36,864,287</u>
資産合計			<u><u>2,453,139,722</u></u>
3 固定負債		負債の部	
(1) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		3,251,796,504	
ロ その他の長期借入金		<u>2,616,233,569</u>	
他会計借入金合計			<u>5,868,030,073</u>
4 流動負債			
(1) 他会計借入金			<u>5,868,030,073</u>

イ	建設改良費等の財源に 充てるための長期借入金	24,722,349		
ロ	その他の長期借入金	25,786,936		
	他会計借入金合計		50,509,285	
(2)	未払金		2,431,380	
(3)	引当金			
イ	修繕引当金	14,187,442		
	引当金合計		14,187,442	
	流動負債合計			67,128,107
5	繰延収益			
	長期前受金額		8,138,550	
	繰延収益合計		△ 3,308,550	
	繰延収益合計			4,830,000
	繰延収益合計			5,939,988,180
6	資本金			25,000,000
7	剰余金			
(1)	資本剰余金			
イ	寄附金	7,455,531		
	資本剰余金合計		7,455,531	
(2)	利益剰余金			
イ	当年度未処理欠損金	3,519,303,989		
	利益剰余金合計		△ 3,519,303,989	
	剰余金合計			△ 3,511,848,458
	負債資本合計			△ 3,486,848,458
	負債資本合計			2,453,139,722

資本の部

5 監査委員の意見

平成28年8月12日

山梨県知事	後藤 斎 殿	山梨県監査委員	小野 久 浩
		同	小泉 邊 司
		同	渡邊 賢 一
		同	

平成27年度山梨県公営企業会計の決算審査について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、平成27年度山梨県公営企業会計の決算について、審査の結果次のとおり意見書を提出します。

I 審査の対象

平成27年度 山梨県営電気事業会計
平成27年度 山梨県営温泉事業会計
平成27年度 山梨県営地域振興事業会計

II 審査の期間

平成28年7月15日から平成28年8月11日まで

III 審査の手續

平成27年度山梨県公営企業会計の決算審査にあたっては、各事業が地方公営企業法その他関係法令に基づいて、常に経済性を発揮し、本来の目的である公共の福祉を増進するよう運営されているか、決算書類が経営成績及び財政状態を適正に表示しているか等について検証するため、決算書、決算附属書類、諸帳簿、証拠書類等について照査し、関係職員から説明を求め、さらに定例監査及び例月現金出納検査の結果を参考にして審査を行った。

IV 審査の結果及び意見並びに決算の概要

各事業会計の審査の結果及び意見並びに決算の概要は、それぞれの会計において述べるのとおりである。なお、平成24年1月に公布された地方公営企業法施行令をはじめとする関係法令の改正による地方公営企業会計基準（以下「新会計基準」という。）が、平成26年度の子算、決算から適用されているため、本書における平成25年度以前の決算計数や経営分析については、従前の会計基準によるものであることに留意されたい。

(1) 平成27年度山梨県営電気事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示している。また、事業の経営については、事業目的に沿って概ね良好に運営されているものと認められる。

平成26年度から新会計基準を適用したため、償却資産を毎年度減価償却することによる資産価値の適切な表示や、収益・費用を発生時点ですべて計上するなど、資産状況や損益構造がより明確になった。損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の公表にあたっては、引き続き、県民にわかりやすい情報の提供や正しい説明を行うことにより、地方公営企業の経営状況の透明性の確保を一層図りたい。

1 経営状況について

平成27年度の経営状況は、6億7,655万2,606円の純利益を上げている。前年度に比べ7,040万7,512円の減となったが、総収支比率は120.5%、経常収支比率は118.9%であり、健全な経営に努めていると認められる。

当年度純利益が前年度より減少した要因は、水力発電と太陽光発電を合わせた電力料収益が2億275万2,660円増加したものの、修繕工事等により笛吹川水系水力発電費が3億8,115万8,501円増加するなど営業費用が大きく増加したことなどによるものである。

電力料収益の増加は、発電量の大きい早川水系において年間降雨量が対前年度比38.9%増となるなど年間を通じた降雨状況が前年度に比べて良好であったことにより、安定的な発電量が確保されたことや、小水力発電所として、朝穂堰浅尾発電所が平成27年4月に運用を開始したことなどにより、水力発電の供給電力量が対前年度比110.3%と増加したことなどによるものである。

今後の経営にあたっては、山梨県強靱化計画に基づき、発電施設の健全性を確保するため、老朽化が進む既存水力発電所の改良や修繕を計画的に進め、効率的な経営に努められたい。また、「強い経済・しなやかな暮らしを支えるエネルギー社会」の実現に向け、エネルギー局との連携を密にし、水力発電による電力の安定供給と併せて、小水力発電及び太陽光発電等の開発と普及促進に一層努力されたい。

2 財政状態について

平成27年度の財政状態は、自己資本構成比率が91.0%、固定資産対長期資本比率が62.4%、流動比率が1,356.8%と、いずれの比率も健全な水準を確保している。

今後とも経営の健全性を確保するため、積立金の計画的な積み立てと適切な管理を行うなど、資本の充実に努め、財政基盤の強化を図り、安定的な事業経営に努められたい。

3 キャッシュ・フローの状況について

平成27年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動により確保した資金の増加が1億3,147万2,888円であり、投資活動として有形固定資産の取得等に14億5,496万3,246円を支出、また、財務活動として企業債の償還等に1億6,928万1,016円を支出しており、平成27年度中の資金額は4億9,277万1,374円の減少となっている。

これは、投資活動において発電所の改良工事による固定資産の取得が多額であったことや、業務活動において還付予定の消費税等の未収金が増加したことなどにより、投資活動による支出が、業務活動により確保した資金を超過したことによるものである。

しかしながら、平成27年度末の現金等残高は144億5,581万2,891円であり、資金繰りは引き続き安定した状況にある。また、平成27年度末の企業債残高は、業務活動によるキャッシュ・フローの範囲内であり、債務償還能力についても特に問題ない。

多額の支出となる発電施設の開発や改良等に長期的・計画的に対応するため、財政の健全性の維持及び財政基盤の強化に一層努められたい。

なお、平成27年度末において、144億5,581万2,891円の資金を有していることから、県公金管理・運用方針を踏まえつつ、確実かつ有利な方法を基本とする中で、より積極的に運用するなど、各種施策の推進に必要な財源の確保に努められたい。

4 経営課題について

電力システム改革の第二段階の実施により、平成28年4月から、電気の小売業への参入の全面自由化と電気事業類型の見直しによる事業区分に応じた規制体系の移行が

図られるなど、公営電気事業を取り巻く環境は大きく変化し、これまで企業局が行っていた卸供給事業の定義がなくなり卸規制も撤廃された。企業局では、「発電事業者」を選択し、東電との平成21年度から平成35年度までの電力受給基本契約を継続して電力供給を行っていくこととした。また、東電と協議を行い、企業局が発電した電力を県内企業等に安価に供給する電力供給ブランド「やまなしパワー」としての電力供給を開始したところである。

今後、電気事業者としてのあり方について、「やまなしパワー」の趣旨と目的を踏まえ効果等を検証しながら、電力市場や他の公営電気事業者の動向等を注視しつつ検討を進め、電力システム改革に的確に対応されたい。

また、平成27年度9月に完成した「次世代フライホール蓄電システム実証試験施設」については、当面予定していた実証試験を終え、結果の検証を進めているところである。この技術は、変動の大きい再生可能エネルギーを安定利用していくための重要な技術であることから、実用化に向け、引き続き実証研究に取り組まれたい。

なお、地域振興事業に対する長期貸付金については、平成27年度に7,050万円余が返済されたものの、その残高は、当年度純利益の8倍超に相当する59億1,853万円余と依然として多額である。長期貸付金については、残高の削減と併せ、回収期間の短縮が図られるよう対応されたい。

(2) 平成27年度山梨県営温泉事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示している。

また、事業の経営については、事業目的に沿って概ね良好に運営されているものと認められる。

平成26年度から新会計基準を適用したため、償却資産を毎年度減価償却することによる資産価値の適切な表示や、収益・費用を発生時点ですべて計上するなど、資産状況や損益構造がより明確になった。損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の公表にあたっては、引き続き、県民にわかりやすい情報の提供やいねいな説明を行うことにより、地方公営企業の経営状況の透明性の確保を一層図られたい。

1 経営状況について

平成27年度の経営状況は、給湯量の減少に伴い温泉供給収益が552万2,701円減少し、経常収益は1億4,642万7,226円と前年度に比べ610万4,216円減少したものの、新会計基準を適用したことにより計上した貸倒引当金繰入額が1,020万3,026円減少するなど、温泉管理費が1,122万5,167円減少したことから、経常収支比率は128.9%と前年度に比べ6.6ポイント上昇している。

平成26年度は新会計基準を導入する以前の賞与引当金を特別損失として265万1,995円計上していたが、平成27年度はその措置が無いため、総収支比率は128.9%と前年度に比べ9.2ポイント上昇している。経常利益3,283万3,560円が当年度純利益となり、前年度より約30.6%増加しており、健全性は保たれている。

今後の経営については、石和温泉の宿泊者数の減少などによる給湯量・温泉供給収益の低下や、給湯施設の老朽化に伴う配湯管の敷設替工事などの投資も引き続き見込まれることから、計画的な運営に努められたい。

2 財政状態について

平成27年度の財政状態は、自己資本構成比率が98.5%、固定資産対長期資本比率が59.6%、流動比率が2,836.1%と、いずれの比率も健全な水準を確保している。

平成27年度末の温泉供給料金未収金は固定資産の破産更生債権等797万350円に、流動資産の未収金2,200万7,760円を加えた2,997万8,110円であり、このうち納期限を過ぎたものは1,795万2,488円である。

これまでもその解消に向けては、鋭意努力しているところではあるが、公営企業としての経営の健全性や公平負担の観点から、滞納者の状況を個々に把握し適切に対応していくなど未収金回収に向け、なお一層努力されたい。

3 キャッシュ・フローの状況について

平成27年度のキャッシュ・フローの状況は、業務活動により確保した資金が1,314万1,878円増加したものの、投資活動として有形固定資産の取得に支出した1億3,312万3,086円が減少しており、財務活動によるキャッシュ・フローは増減がなかったことから、平成27年度中の資金額は1億1,998万1,208円の減少となっている。

平成27年度は温泉施設改修工事による固定資産の取得があり、投資活動による資金の増加額を超えているが、温泉事業の経営は、現状借入金がなく、業務活動により確保した資金については、ほぼ全額を投資活動に活用できる状況にある。

また、平成27年度末の現金等残高は、前年度に比べ17.8%減少し、5億5,335万6,060円であるが、営業収益に対する比率は401.2%と事業規模に対して十分に確保されており、財政の健全性が損なわれるほどの水準にはないといえる。

なお、給湯施設の改良等が引き続き見込まれることから、今後の投資活動に計画的に取り組み、キャッシュ・フローの適正な管理に一層努められたい。

4 経営課題について

平成27年度の総給湯量は79万8,778立方メートルで、過去15年間で最も給湯量が多かった平成17年度の98万51立方メートルに比べ18.5%減少している。平成27年度末の温泉供給契約口数は509口で、最も契約口数が多かった平成13年度の561口に比べ52口減少している。

今後温泉事業の経営にあたっては、温泉の湧出量や給湯実績の状況を適切に把握した上で社会情勢や経済状態を見極め、減少した契約口数分の新規分譲を行うなどの将来に向けた投資を勘案した経営を進めるとともに、地元自治体や関係団体等と連携して、引き続き温泉資源の保護と地域振興に努められたい。

(3) 平成27年度山梨県営地域振興事業会計

審査の結果及び意見

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令等に準拠して作成され、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示している。

また、事業の経営については、事業目的に沿って運営されているものと認められる。

平成26年度から新会計基準を適用したため、償却資産を毎年度減価償却することによる資産価値の適切な表示や、収益・費用を発生時点ですべて計上するなど、資産状況や損益構造がより明確になった。損益計算書や貸借対照表などの財務諸表の公表にあたっては、引き続き、県民にわかりやすい情報の提供や詳しい説明を行うことにより、地方公営企業の経営状況の透明性の確保を一層図られたい。

1 利用者数について

平成16年4月から指定管理者制度の利用料金制を導入し、民間企業の参画を得て新たな経営・運営体制が発足した。10年が経過した平成26年度からは新たな指定管理者が選定され、施設の管理・運営を行っている。この間、施設全体の利用者数は、平成17年度をピークに漸次減少傾向あったが、平成27年度は山梨県内で初となる（公社）日本グラウンド・ゴルフ協会認定のグラウンド・ゴルフ場を整備したこと等により、前年度実績に比べ1万234人増加した。

平成27年度の事業部ごとの利用者数は、レストラン事業部が前年度と比較して6,385人減少（△13.7%）し、ゴルフ事業部も78人減少（△0.2%）したものの、レジヤ事業部が1万6,697人増加（13.7%）した。その結果、施設全体の利用者数は1万234人増加（4.8%）し、22万3,609人であった。

しかしながら、有料施設の利用者数の実績は、計画に対して下回る状況が続いているため、今後も指定管理者と協力し、需要の増加が見込めるグラウンド・ゴルフや中核事業であるゴルフ事業において、更なる利用者数の確保に取り組みとともに、施設全体の利用者数の増加が図られるよう努められたい。

2 経営状況について

営業収益は指定管理者からの施設利用料等の1億5,000万527円であり、営業費用は減価償却費や借地料等の1億4,426万9,225円となった。この結果、営業利益は573万

1,302円となり、前年度と比較して191万9,043円増加している。

この増加要因は、費用面で、耐用年数の経過により施設の減価償却費が減少したこと及び借地料が減少したことによるものである。指定管理者からの施設利用料については、前年度と同様に約定どおり納入されたが、今後も継続して安定的な確保に努められたい。

営業利益573万1,302円に営業外収益119万3,462円を加え、営業外費用66万2,051円を差し引いた経常利益は626万2,713円となり、当年度純利益も経常利益と同額となった。経常利益、当年度純利益は、いずれも前年度と比較して26万8,487円減少しているが、減少の主な要因は、平成26年度からの新会計基準適用により、営業外収益として計上された長期前受金戻入が償却限度額に達したため、平成27年度は計上されなかったことによるものである。

平成27年度は、前年度に引き続き収益的収支の黒字化が図られ、総収支比率は104.3%と前年度と比較して0.1ポイントの低下、経常収支比率も104.3%と前年度と比較して0.1ポイントの低下となり、それぞれほぼ同水準で推移している。しかしながら、過去から累積した当年度未処理欠損金は、35億1,930万3,989円と依然として多額である。今後とも純利益を安定的に確保し、果敢欠損金を減少させるためにも、有料施設の利用増に向けた取り組みを図り、経営状況の改善に一層努力されたい。

3 財政状態について

平成27年度の財政状態を経営指標で見ると、自己資本構成比率は△141.9%と前年度と比較して3.6ポイント低下し、悪化している。一方、固定資産対長期資本比率は101.3%と前年と比較して0.8ポイントの低下、流動比率は54.9%と前年度と比較して10.2ポイントの上昇となり、改善している。また、資本合計については、△34億8,684万8,458円となり、前年度と同様に大幅な債務超過となっている。

電気事業会計からの長期借入金は、損益勘定留保資金による返済が行われているが、その残高は59億1,853万円余と依然として多額である。計画的な償還を行い、残高の削減が着実かつ早期に図られるよう努められたい。

4 キャッシュ・フローの状況について

平成27年度の業務活動により確保した資金の増加は7,185万242円であり、投資活動として有形固定資産の取得に522万5,000円を支出し、財務活動として電気事業会計からの長期借入金の返済に7,050万2,234円を支出しており、平成27年度中の資金額は387万6,992円の減少となっている。

業務活動により確保した資金の大部分は、長期借入金返済に充てられており、将来に向けた施設・設備の整備などについては、引き続き資金面で厳しい状況にある。

施設・設備の更新・改修については、「山梨県企業局経営戦略」において平成28年度から10年間の投資・財政計画を定め、その計画に基づき計画的に進めていくとしているが、経費節減に努めつつ、緊急性が高く収益に結びつく修繕を優先して実施するなど、キャッシュ・フローの適正な管理に留意されたい。

5 経営課題について

地域振興事業の経営改善については、平成24年度の有識者によるあり方検討委員会の提言等を踏まえ、指定管理者制度を適正に運用し、安定的な施設利用料を確保していくこととしている。また、平成30年度までの現行の指定管理者との指定期間内に、収益的収支の黒字化の定着を図り、累積欠損金の減少に努めるとともに、毎年度の業務活動により生じるキャッシュ・フローから長期借入金の計画的償還を目指すこととしている。

しかしながら、事業継続のためには、施設・設備の老朽化に伴う修繕費の増加が見込まれることから、これまで以上に厳しい経営状況、財政状態が続くものと予想される。

経営改善策の取り組みを進めるにあたっては、指定管理者の経営状況や地域振興事業の改善状況を継続して検証し、今年度設置する外部検討委員会において、施設のあり方を含めた更なる改善策について様々な角度から検討を進め、適切に対応されたい。